

北淡震災記念公園 野島断層保存館

1995年1月17日、それは忘れることが出来ない日、そして忘れてはならない日。阪神・淡路大震災により、かつて無い大きな被害を受けると共に、改めて「命の尊さ」や「絆の大切さ」を思い知ることとなりました。今、日本列島は、地震の活動期に入り、いつ、どこでも地震が起きる可能性があります。北淡震災記念公園では、阪神・淡路大震災を伝えるだけではなく、震災の教訓を防災・減災に役立てる様々な活動に取り組んでいます。

震災を風化させない 震災の語りべ

実際に被災者の体験や震災や復興の様子を生々の声で聞き、肌で感じとることは、展示や映像を見るだけでは得られない、貴重な経験です。（※要予約・要費用）



語りべ

元教師 元行政職員
元消防署長 元地元消防団員
元民生委員など

現在20名登録

希望に沿った
講話が聴けます



会場 セミナーハウス

“自分の命は自分で守る”

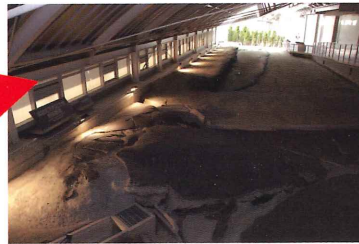
災害が起きれば、私たちはとにかく生き延びなければならない。そのときに備え、どこまで真剣に準備をしておいたかが自分と家族の生死を分けるのです。過去の体験から、自分と周りの人の命をいかに守るかを学んで頂けます。



自然の驚異 野島断層を見学

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)で出現した野島断層。野島断層保存館では断層をありのまま保存。地震の凄まじさと脅威を感じ、地震に備えることの大切さを学べます。

エントランスホール
国道43号線が倒壊した様子の再現模型、震災当時の写真パネル、活断層地図を展示しています。



道路の破壊

トレンチ
断層の断面と地下の様子が観察できます。



台所の様子を再現



メモリアルハウス
活断層の真横に建てていましたが、ほとんど壊れなかった家を「地震に強い家」として公開しました。当時の台所の様子を再現しています。

震災体験館

阪神・淡路大震災と東日本大震災の異なるタイプの地震の揺れを体験できます。震災シアターでは過去の地震の映像から将来起こりうる災害への備えを訴えかけます。

